

村山中藤保育園「櫻」の保育実践について

平成30年7月4日（水）

村山中藤保育園「櫻」 若山望

【園の概要】

社会福祉法人 高原福祉会

村山中藤保育園「櫻」 東京都武蔵村山市中央1丁目28番地

定員 220人 職員31人（非常勤16人）

保育目標 人としての機能発達を重視し、自ら遊びに挑む子どもを育てる

保育理念 人間が人間らしく育つ 子どもは自ら育つ力を持っている

保育者指針 ①命を預かっている

②パーソナリティ・心の形成期である

③発達段階に即し、意図的に誘導する

子どもが自主的自発的に活動しやすいよう、自ら学びを得られるよう、環境を整備する、環境整備者である

保育形態 0歳児～2歳児 小規模グループ保育

3歳児～5歳児 異年齢・同年齢保育

1. 子ども主体の保育

○一人一人の発達に合わせた保育（支援を必要とする子ども・一時保育児含め）

ありのままの子どもの姿を受け入れ、発達期を見極め、望ましい環境を整備し、保育園全体で保育する。

<具体的な配慮>

（ありのままの子どもの姿を受け入れる）

～心を感じながら接していく中で、多角的に洞察していく。

*好きなこと・嫌なこと（好むこと・不得手なこと・感覚面）

*分かること・分かりにくいこと（知的面）

*扱いにくそうな体の動き（身体面）

（発達期を見極める・望ましい環境を整備する）

～1人ひとりの発達段階に合わせる（発達チェック表使用）

*生活年齢・運動面・知的面・コミュニケーション面それぞれの確認

- *生活拠点（保育室変更）、また、遊びの内容により他のクラスへ
- *排泄・着脱・食事などの自立、個々に対応
 - ※個別カリキュラムを家庭と共有
 - ※食事・排泄・着脱など子どもが関心ある時に
 - ※必要に応じて手すりや補助付き座椅子など設置

（園体制の取り組み）

- *職員全体で情報を共有（個別検討会議は生活を共にする職員全参加）
 - ※対話的な情報共有の中で職員のスキルアップにもなる

○発達期を見据えたカリキュラム作成

子ども達の興味関心に合わせ、連続性を重視し、“子どもの育ち”（発達期）を押しさえながら保育展開をしていく。

- 0歳児…安心した人との応答的なやりとりの中で要求が充足され心地よく過す
- 1歳児…探索行動をしながら身体を動かす喜びを知り十分に遊び満足感を得る
- 2歳児…身の回りのことができることを喜び、十分に自己主張しながら遊ぶ
- 3歳児…身の回りのことを自分で行い、友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る
- 4歳児…十分に自己発揮し、身体的にも知的にもダイナミックに遊ぶ
- 5歳児…自ら考え、状況判断し、自信をもって過ごす

- *月のカリキュラム（0～5歳児別）会議 全保育士参加可能（自由参加）
全学年のカリキュラムを職員が周知している＝全保育士で全園児保育
- *月別実践計画・週案に個別配慮欄あり（全園児対象）

<支援を必要とする子どものカリキュラム＝個別指導計画>

～行動観察記録をもとに年間計画・3期ごとの計画を作成

*行動観察記録

- ・基本的な生活習慣…健康・排泄・着脱・食事・睡眠・その他
- ・コミュニケーション…表出・理解
- ・運動能力、知的理解に加えて成育歴、関係機関などにも配慮

↓

- *個別検討会議（関わりのある職員全員参加）→月別個別指導計画
 - ・1～2か月に一度（目標・方法配慮・評価・反省）
 - 個別・クラスのカリキュラムに合わせた週案をたて実践

2. 保護者支援・関係機関及び小学校等との連携

○保護者・家庭状況に合わせた支援

“安心した子育て”に平等性をおいて考える。

家族支援も視野に入れ子どもにとって望ましい方向性を見極めながら支援する。
信頼関係を重視し、自ら子育てに意欲がもてるように親子の心を繋いでいく。

(子ども家庭支援センターなどとの連携)

- * 育児困難家庭など複雑な要因のある家庭の場合
～各機関で連携をとり役割を分担していく。

(療育病院の地域支援事業の活用)

- * 支援を必要とする子どもの主治医や言語聴覚療法士、作業療法士、理学療法士、心理などの療育機関の担当者等と、保護者の同意のもとで連携し、互いの専門性を活かし合い、子どもの育ちを支える。

○小学校との連携

(日常的な交流を行い保育内容に反映する)

- * 5歳児カリキュラムと繋がり、5～6年生保育体験、5年生と5歳児交流
- * 新任教諭研修受け入れ・学校運営協議会委員として参加

(就学にあたっての情報共有)

- * 保育児童要録(昭和44年ころより独自に実施)、就学支援シート作成
- * 子どもの個性を記入
- * 支援を要する個性は、関わり方や園での取り組みを記入
- * 入学前や就学後、訪問日を設け、子どもの観察や情報交換